

理科実験でいろいろなことを共に学びました！

11月1日(月)に交流及び共同学習として、猪名川高等学校の理科を受講し、様々な実験に参加しました。実験の内容は ①死海を作る(水溶液の濃度を上げることで、どこまで浮力が大きくなるのか。) ②いかにしてグラスを遠くまで滑らせるか(様々な条件下で、机上のグラスを一定の力で滑らせ、どのような条件であれば一番遠くまで滑らせることができるのか。) ③ビタミンC量の比較(いろいろな飲み物などに含まれるビタミンC量を、アルカリの水溶液を使って中和させることで、測定する。) ④いろいろな魚の体液に含まれる成分の計測(淡水魚と海水魚の体液を抽出して、水分を蒸発させることで、どれぐらいの個体成分が残るのかや何が含まれているのかを計測、推察する。)でした。

分教室の生徒たちは、実験で何が分かるかの説明を受けながら熱心に実験を手伝っていました。机上の理論ではなく実際に説明を受けたことが目の前で起こったり、自分が重要な作業を担当して緊張したりとたくさんの経験と学びをもらいました。猪名川高等学校の理系クラスの生徒たちも、楽しく上手に分教室の生徒たちを導いてくれました。真剣で楽しい充実した時間だったと思います。



